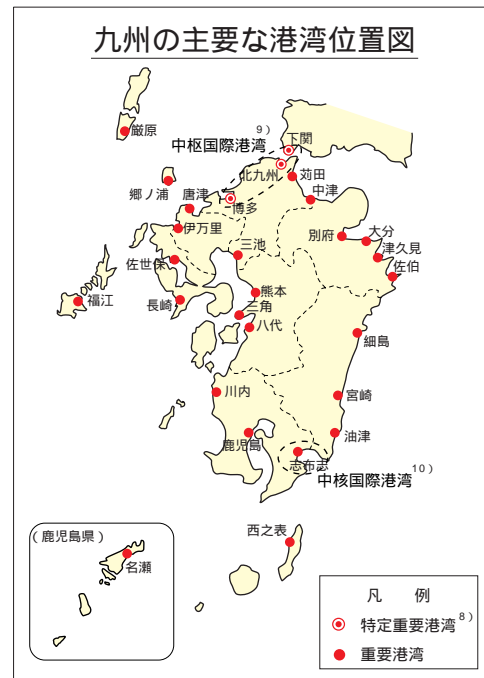


3-2 九州版新世紀港湾ビジョンにおける九州内の港の役割分担

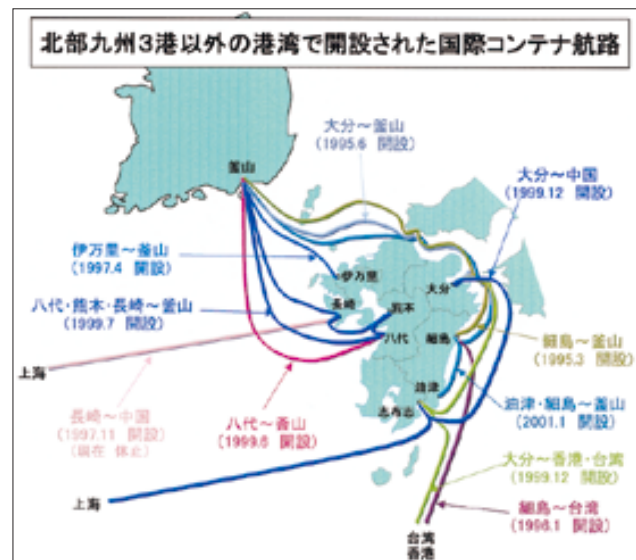
運輸省港湾局（現 国土交通省港湾局）が、我が国の港湾政策の基本的方向となる「新世紀港湾ビジョン－暮らしを海と世界に結ぶみなとビジョン－」を策定したのを受け、国土交通省九州地方整備局が『九州地域における新世紀の港湾・空港ビジョン－東アジアの時代にはばたく九州の「みなと」』を平成13年6月に策定しました。この九州版新世紀港湾ビジョンでは、九州が「東アジアとの一体的発展に向けた国際交流を先導する地域」として、また「住みよく安全で安心な暮らしができる地域」として発展していくために、九州の「みなと」が目指す方向の1つとして、以下のような基本方針を掲げています。



東アジアとともに発展する九州経済を支える「みなと」

環黄海経済圏との国際コンテナ輸送については、九州内のそれぞれの「みなと」で扱い、また欧米との国際コンテナ輸送については、北九州港及び博多港で直接扱うとともに、北九州港、博多港、釜山港などを経由して輸送することにより、九州全体の経済を支えています。

また、私たちの暮らしはエネルギー、食料、原材料などふだんの生活に欠かせない物資によって支えられています。大半を輸入に頼っているこれらの貨物バルク貨物⁶⁾は運賃負担力⁷⁾が低いため、消費地に近い「みなと」から陸揚げ陸送距離をできる限り短くする必要があります。このため、豊かで安心な生活を確保していくために各地域の拠点整備をより推進していく必要があります。



- 6) バルク貨物：穀物、石炭などのように粉粒体のまま包装せずに積み込まれる貨物。バラ積み貨物ともいう。
- 7) 運賃負担力：輸送サービスの提供を受ける貨物または旅客の対価負担の能力。例えば、ICなど高価格貨物は価格に占める運賃の割合が小さいので運賃負担力は高く、また重量や容積当たりの単価が低い貨物は大量に扱われるが運賃の占める割合が大きいため、運賃負担力が低いことになる。
- 8) 特定重要港湾：重要港湾(P.2参照)のうち、国際海上輸送網の拠点として特に重要な政令で定められた港湾。（港湾法）
- 9) 中枢国際港湾：我が国の中枢的な国際コンテナ港湾で、長距離基幹航路など世界にめぐらされた航路網を有し、大水深で高規格な国際海上コンテナターミナル群を有する港湾。
- 10) 中核国際港湾：中枢国際港湾を補完する港湾。欧米等と結ぶ長距離基幹航路の実現性を有する。